

**公開講演会「次世代の気象予測をめざして
～THORPEX 研究計画とアジア展開～」開催のお知らせ**

THORPEX は、世界気象機関 (WMO) が2005年から10年計画で進めている、1日から2週間先までの社会的に影響が大きい大気現象の予測精度向上をめざす国際研究計画です。

この計画の内容を気象学会員の皆様方に広く知っていただくことを目的に、米国から2人、わが国から2人の計4名の研究者をお招きして、以下の日程で公開講演会を開催することとなりました。

特に米国からのお二人について簡単に紹介させていただきます。Shapiro 博士 (米国海洋大気庁) は、THORPEX の国際的な科学実施計画書を取りまとめた方です。また、Parsons 博士 (米国大気研究センター) は、北米 THORPEX 地域委員会の共同議長のお一人で、2008年に台風を対象にして北西太平洋で予定している太平洋アジア地域観測計画の責任者の1人です。

日 時：2006年3月6日10：00～12：10

場 所：気象庁講堂

プログラム案：

10：00～10：40 Melvyn A. Shapiro (米国海洋大気庁)

「THORPEX の科学目標」(仮題)

10：40～11：10 David Parsons (米国大気研究センター)

「2008年アジア太平洋地域観測」(仮題)

11：10～11：40 余田成男 (京都大学教授)

「日本における THORPEX 研究計画」(仮題)

11：40～12：10 露木 義 (気象庁数値予報課長)

「顕著現象に対する気象予測モデル開発」(仮題)

使用言語：英語、日本語 (同時通訳なし)

問い合わせ先：

気象庁気象研究所台風研究部 中澤哲夫

Tel：029-853-8671,

E-mail：nakazawa@mri-jma.go.jp